

議会報告会報告書

平成24年8月6日

山陽小野田市議会

議長 尾山信義 様

A班

代表 伊藤 實

平成24年6月定例会議会報告会の実施状況について下記のとおり報告いたします。

記

1 開催日時

平成24年7月26日（木） 19:00 ～ 20:30

2 開催場所

厚陽公民館

3 参加人数（市民）

18 人

4 担当班議員名

（伊藤 實）（伊藤 武）（下瀬俊夫）（平原廉清）
（松尾数則）（岩本信子）

5 報告会次第

- （1） 市議会議長挨拶
- （2） 6月議会の報告
 - ① 総務文教常任委員会
 - ② 民生福祉常任委員会
 - ③ 産業建設常任委員会
 - ④ 議会運営委員会
- （3） 質疑応答

6 主な質問・意見・提言

① 防災ラジオの申し込みと、周知はどうか。

[回 答]

自主防災組織や要援護施設が優先する。家にある FM ラジオでも対応できる。

② 埴生の小中連携の白紙撤回の経緯はどうか。

[回 答]

PTA アンケートで、7 割が反対である。

③ 7月5日 PTA 役員とふるさとづくりのナカムラさんとその他 5 人で埴生小で話あったが、最終的には建設してほしいということになった。

教育委員会は、決まらないものは予算化できないのに、PTA 役員に合併特例債の比率を話しているが誰か。

[回 答]

意見交換会に行ったが、特例債の比率は言っていない。協議会でも発言していない。次にまた行くので話しを聞く。

④ 議員定数についてどのように決めるのか。「少数精鋭」は何を持って精鋭というのか。

[回 答]

少数だけではない。検定試験などは簡単にできない。

⑤ 4 月に協議会がひらかれて、何も進んでいないことはどうか。また特別委員会にはしないのか。

[回 答]

特別委員会と同じ重い協議会だと考えている。公開討論会を行っていく。

⑥ 期限を決めて、市民に示すべきである。

[回 答]

次回の選挙に間に合うようにする。

⑦ ある程度日程目標を持ってすべきである。

[回 答]

理解いただきたい。

⑧ 埴生小中連携について、将来のこどもの人数は把握しているのか。少子化対策を考えていただきたい。

[回 答]

数字は把握している。保護者や現場の声を大事にして考える。

- ⑨ 防災ラジオ配布よりも、情報の出し方は市民に分かりやすい非難など、防災組織を確立する方が先ではないか。

[回 答]

自主防災組織の中でしっかりと対応していくことは必要、FM サンサンきららは緊急情報を発信する。

昨年の災害で、情報発信手段を増やすがあり、その中にラジオがある。

自主防災の中身を充実させて、機能する組織としていく。